

令和元年度 科目名 (体育 1)

1 対象年次、単位数、使用教科書

1年次 (必修) 3単位

教科書：現代高等保健体育 (大修館)

学習書：最新スポーツルール (大修館)

2 科目の目標

各種の運動の合理的な実践を通じて、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

3 評価規準 (何を評価するか)

変化する現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解するとともに、運動の文化的な意義を理解することを通じて運動への関心・意欲を一層高め、豊かなスポーツライフの設計と実践について理解を深めることができるようにする。また、自己の能力に応じて運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わえるようにするための運動の学び方について理解し、自己の体力や生活に応じてトレーニングの方法など体力の高め方について実践的に理解できるようにする。

4 評価基準 (どんな方法で評価するか)

レポート内容の基本的な部分のみ理解されている場合は、理解度に応じて評価 2~3、標準的な部分まで理解できている場合は評価 3~4、発展的な部分まで理解できていると判断される場合は評価 4~5 とする。基本的な部分が理解できていない場合は再提出とする。再提出により合格した場合の評価は 2~3 とする。

5 試験範囲と試験による評価基準

R1 の範囲で 7 月試験を実施、R 2 の範囲で 10 月試験を実施、R3 の範囲で 1 月試験を実施。評価は 30~40 点を 2、41~70 点を 3、71~80 点を 4、81 点以上を 5 とする。なお、29 点以下については再試験とする。

再試験を繰り返してもなお基準点(30 点)に達しない場合は 1 とする。(単位認定しない)

6 スクーリングの目標・内容・計画

いろいろな手軽な運動や律動的な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことによって、自己の体の状態だけでなくその変化にも気付き、体の調子を整えたり、仲間と交流したりする。また、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を培うことができるようにする。

シラバス (学習内容、年間指導計画および評価規準・評価基準)

R	項目	内容	教科書	時期
1	人間にとって「動く」とは何か スポーツの始まりと変遷	<ul style="list-style-type: none"> ・人間にとっての運動の意味 ・スポーツの始まりと発展 ・バドミントン ・体操競技 	116~ 119	5月 月上旬
2	文化としてのスポーツ オリンピックと国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを文化としてとらえること ・オリンピックとオリンピックムーブメント ・変貌するオリンピック ・水泳競技 ・バスケットボール 	122~ 127	8月 月上旬
3	スポーツと経済 ドーピングとスポーツ倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの経済波及効果。 ・ドーピングとスポーツ。 ・陸上競技 ・ソフトボール ・スキー ・スノーボード 	130~ 134	11月 月上旬